

謹賀新年 ~令和二年の年頭にあたり~

赤シャツ親父

新年あけましておめでとうございます。令和元年の後半は、千葉県下、台風や低気圧にともなう災害に見舞われましたが、今年は穏やかな一年となることを願うところです。さて、年頭にあたり、今年の干支の「子」(ねずみ)に関連し、谷津田の可愛いキャラクターをご紹介しますとともに、大椎小学校の村山先生よりご提供いただいた、大変貴重な学習カードを基に、今期の小学校田んぼについて、振り返ってみたいと思います。



図1 新春!カヤネズミ年?の絵

◎子年にちなんで。。。谷津田のねずみのお話

谷津田で見かけることのあるネズミ「カヤネズミ」のイメージから年賀風の絵を描いてみました(図1)。葦の青い葉にて2020の数字を表したつもりですが。。。ともあれ、カヤネズミは、休耕田や、田んぼの、地面より高い場所に、絵の様な草の葉や茎などを上手に編み込んだ球状の巣をつくり(図2)、そこで休んだり、子育てをしたりします。体長は約6センチ、体重7~8グラム(大人の親指程!、図3)で、日本で一番小さなネズミとして知られています。「ネズミは穀物好き」との印象もあり、稲の食害動物では?との疑いも浮かびますが、ネズミの糞から抽出したDNA分析の結果(※1 畠 and 高倉, 2017)からは、主に稲以外の植物や昆虫などを餌にし、食害生物にあたらなとの事。写真2は5月の田植えシーズンに、恐らく若い個体が、休耕田のセリの葉影から現れ、人を恐れる風でもなく、間近を通過する所。写真3は、稲刈りシーズンの10月に、イグサと稲の林立する田んぼの中にみかけた巣。2枚の写真から伺える様に、人の営みに係る田んぼの周囲を、上手に棲みかを移しながら、生活している様です。棲息域は、東北は宮城県より南に確認されており、千葉県をはじめ、多くの都県では、絶滅、または絶滅危惧に瀕しているとの事。昨年秋は台風や、豪雨もあり、その影響も心配されますが、今年も脈々と田作りを続ける中で、また、可愛いカヤネズミとに出逢えることを、心より願って止みません。

※1 参考文献 畠 佐代子 and 高倉 環動昆 第28巻 第3号:121-131 (2017)

◎大椎小学校5年生、田作り体験を振り返って。

~村山先生ご提供の総合学習振り返りカードを読み解くと?~

稲刈りをすっかり終えた11月、大椎小学校の村山先生より、子どもたちの気持ちがざっしりと詰まった感想シートとともに、「5年生総合学習振り返りカード(24人分)」(図4、以下振り返りカード)をお借りました。振り返りカードは、小学校田んぼでの3回の学習毎に、14~18個の設問が用意されており、それぞれに、特に強く感じた設問に(◎)、感じた設問に(○)、を記す(空欄および複数回答可)、といったとてもシンプルなワークシートになっていました。それらをしげしてと拝見していると、子どもたちの感じたことの傾向が、とてもありありと伝わってくるではありませんか! そのほんの一滴をご紹介します。

※ 以下、◎を2点、○を1点と置き換えて、各設問の合計を「合計点」としています。

★作業の楽しさと慣れ 図5では、各作業毎に「楽しさ」に係る合計点を比較しています。同時に、習熟度の例として「大変さ」と「泥の感触」についても示しています。最初の作業である「田植え」では、「楽しい」とともに「大変だ」の印象が強い様です。そして。。。草取り、稲刈り、と回を重ねる毎に、「大変だ」が下がるとともに「泥の感触」に抵抗が減っている様です。何と云っても、収穫の喜び、稲刈りが一番楽しい様です。草取りは確かに、辛いよね。。。



図2 カヤネズミの巣(10月6日)



図3 セリの葉影から。(5月24日)

5年生総合学習振り返りカード(前編)

1 「大椎っ子田んぼ」を通して感じたことを選んで、特に強く感じたことには◎を、感じたことには○を()に書きましょう。また、□に自由感想を書きましょう。

【田植え】(1本設問) <input type="checkbox"/> 田植え作業は、大変だ。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、楽しい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。	<input type="checkbox"/> 田植え作業は、大変だ。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、楽しい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 田植え作業は、むずかしい。
【稲刈り】(1本設問) <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、大変だ。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、楽しい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。	<input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、大変だ。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、楽しい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 稲刈り作業は、むずかしい。
【草取り】(1本設問) <input type="checkbox"/> 草取り作業は、大変だ。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、楽しい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。	<input type="checkbox"/> 草取り作業は、大変だ。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、楽しい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。 <input type="checkbox"/> 草取り作業は、むずかしい。

(自由感想)
 今田作りをして作っている農家の人は、たいてい思ったよりも、田んぼの作り方を教えてくれた。と思った。

図4 振り返りカード

★米作りの印象は？ 図6に「米作りの印象」に係る項目の合計点を比較しています。田作りの「楽しい」や「面白い」は、緩やかながら、回数とともに上昇する様ですが、点数は平均と同等か低めです。稲刈りの項で初登場した設問「もう一度やりたいか？(*印)」には一定の反応がありますが「農業をやってみたい？(◆)」まで考える子たちは少ない様です。喜びは大きいけれど、大変さも十分理解しており、ちょっと難しいかも。。。と考えているのかもしれません。それでも「やってみたい」にポイントを付けた子が、24人中、16人もいたのですから、大したものです！

★全体の印象は？ 図7に「稲刈り」の項で登場した設問について、左から右へ、ポイントの高い順に示してあります。平均を超える高ポイントであった設問は、「楽しさ、喜び、驚き、そして有難さ」、に關係する項目の様です。一方で、実際の作業に係る項目は平均以下の場所に集中しており、現実的な難しさもしっかり感じているものと思われます。総じて、我々と実施した田作りが、とても充実していたことを物語る結果と言えるでしょう。

★終わりに 上に示された結果は、日本の小学生全体に一般的な傾向を投影したものと考えられるのではないのでしょうか。同時に、私達の今後の方向性を示す大変貴重な情報を沢山含んだものと思われます。「振り返りカード」をご提供くださった村山先生と、ご回答下さった子どもたちに心より感謝申し上げます。

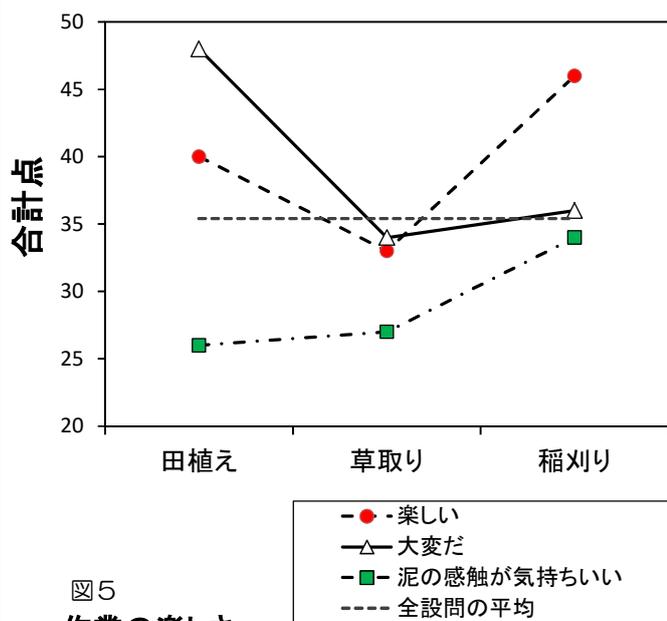


図5 作業の楽しさ

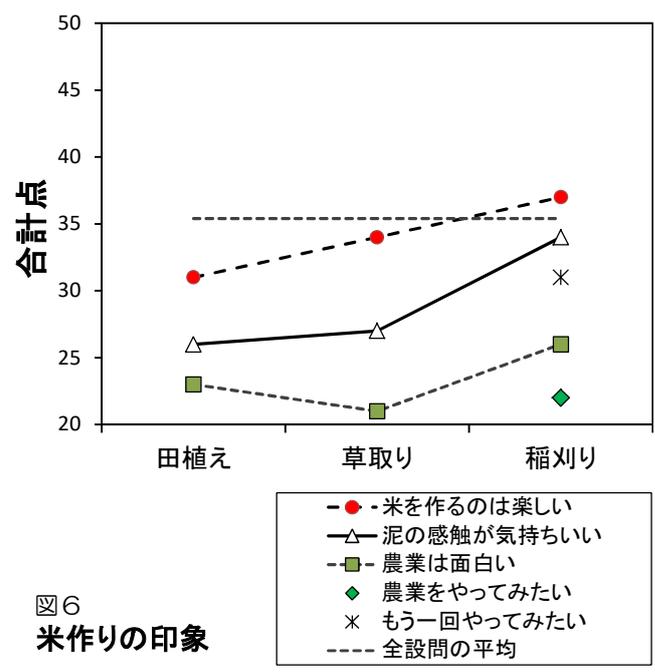


図6 米作りの印象

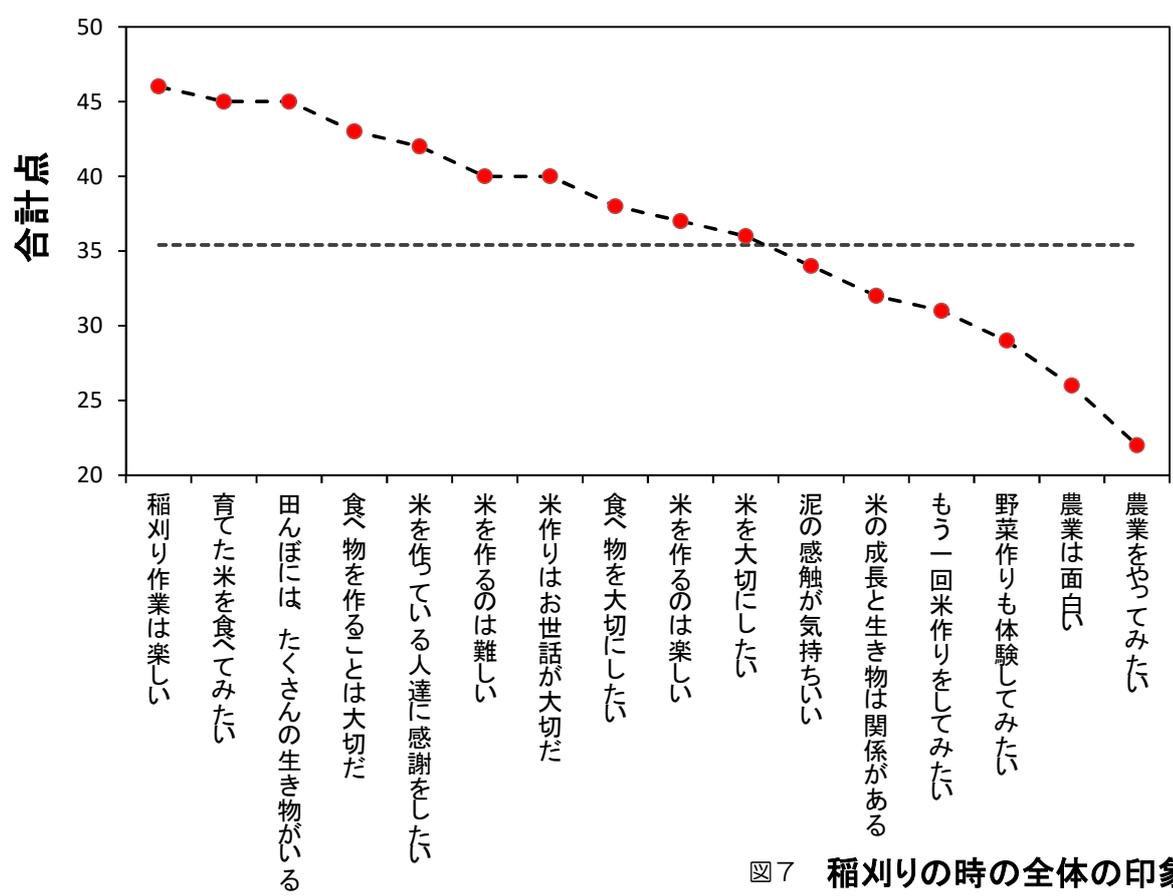


図7 稲刈りの時の全体の印象



里山たんけんレポート

第239回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2019年12月1日(日)曇

アライグマ捕獲用の箱わなにタヌキがかかっていました。扉をあけて逃がしてやりましたが暴れるでもなく、おとなしいものでした。逃げ足は速くカメラにちゃんと捕らえることも叶いませんでした。久し振りに下の鉄塔まで巡りました。向かいの土水路から谷津内に水が逆流しているところもあったり、水位が高く水浸しのところなどもありました。カラスウリ、マユミ、ノイバラ、ツルウメモドキなどが目を楽しませてくれましたが、曇り空で生きものはジョロウグモを見かけた程度でした。鳥の出現も少なかったものの、田んぼからはクサシギが飛び立ち、ブッシュの中からはアオシヤウグイスの声が聞こえていましたが11種とちょっとさみしいものでした。

林内ではヤブコウジの仲間の赤い実を見たり、フユイチゴが食べ頃で甘酸っぱい味を楽しみました。



参加 16名(大人11名、小学生2名、幼3名) 報告・写真 網代春男

第244回 下大和田 YPP「収穫祭」

2019年12月14日(土)晴

今年はみんなが満足するまで餅つきをして貰おうと6臼搗きました。ちょっと多すぎたようでしたが、お餅は餡こ、きなこ、納豆、磯辺、おろしなどでいっぱいお腹に納め、加えて焼きいも、林内で栽培したナメコの汁、持ち寄られた野菜いっぱい味の味噌汁などで満腹になりました。食べきれなかったお餅はお土産にしました。

子どもたちは弓的的当て、じゃんけん勝ち残りゲームなどを楽しみ、大人は田村さんの鮮やかな口上で稲わらの正月飾りを作りました。今年はみんな上手に作れました。たくさんの方の参加があり、今年の米作りを祝い、締めくくりにふさわしい収穫祭になりました。

参加 89名(大人50名、高校生5名、小学生20名、幼児14名) 報告・写真 網代春男



里山クラブ 森と水辺の手入れ 2019年12月15日(日)晴

今日はことぶき大学から環境保全ボランティアで8名の参加がありました。作業は来年のおだ用竹の切り出しを行いました。竹の枝落としはちょっとしたコツを覚えるときれいに簡単に落とすことが出来て快感すら覚え、夢中になって枝落を楽しみました。一段落したところで稲わらでお正月飾りを作りました。みんな上手に出来て記念写真をパチリ。お昼には林内で育てたナメコ、ヒラタケ、シイタケを採って味噌汁で味わいました。 午後は林内のミニ観察をしました。

参加 19名(大人15名、小学生2名、幼児2名、)

報告・写真 網代春男

2019年12月27日(金)晴

イノシシに畔を荒らされ、急遽対策で集まれるもので田んぼ周辺の草刈りをしました。水位が高く長靴がもぐってしまう状況で悪戦苦闘しながら刈払機でかったり、のこぎりでヤナギを切ったりしました。

参加大人5名 報告 網代春男



第184回 小山町 YPP「もみすり」

2019年12月21日(土)曇

お隣の環境団体、土気NGOさんの古民家の庭先をお借りして、小山 YPP で収穫された稲のもみすりを行いました。底冷えする冷たい曇天でしたが、黒米、赤米、緑米、コシヒカリと順調にもみすりをを行い、合わせて55kg程の収穫となりました。

参加 4名(大人4名) 報告 たんぽぽ

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 12月10日 例年よりも赤くなるのが遅いアオキの実(たんぼぼ)
12月21日 ジョウビタキの声、夕刻、キョんらしき叫び声。(赤シャツおやじ)
12月20日 冬鳥(ルリビタキ、ベニマシコの赤い雄)に会う。(高山)

下大和田

- 11月29日 クサシギたんぼに来る。以後居着いている。(網代)
12月16日 田んぼに薄氷張る。(網代)
12月20日 イノシシに畔を崩される。(網代)



撮影 たんぼぼ

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター(E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

▼第245回 下大和田 YPP「とんと焼きと昔遊び」

お正月飾りやかかしを炊きあげます。ベーゴマなどの昔遊びもします。

- 日時: 2020年1月11日(土) 9時45分~14時 雨天延期
場所: 千葉市緑区下大和田谷津
集合: 現地。初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。
交通: JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車。徒歩5分で現地。<千葉駅発 8:25、8:40 など、所要時間 45分>料金は550円。
持ち物: 弁当、飲み物、長袖・長ズボンの服装、帽子、敷物など。
参加費: ちば環境情報センター会員300円、一般500円(小学生未満無料)、米作り年間参加は別途済み。
主催: ちば環境情報センター 共催 ちば・谷津田フォーラム

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内の下刈り、谷津内の草刈りなどをします。

- 日時: 2020年1月19日(日) 9時45分~12時 雨天中止。
場所: 同上 交通: 同上
集合: 同上
持ち物: 弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、軍手、帽子、敷物、あればヘルメット。
主催: ちば環境情報センター



撮影 たんぼぼ

▼第241回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

ニホンアカガエルの産卵数のカウントと鳥の姿を求めながら谷津を巡ります。

- 日時: 2020年2月2日(日) 9時45分~12時 雨天決行。
場所: 同上 交通: 同上
集合: 同上
持ち物: 筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム

▼第185回 小山町 YPP「あぜの手入れ」

来季の米づくりに備えて、田んぼのあぜの手入れをします。

- 日時: 2020年1月18日(土) 10時~12時 ☆小雨決行
場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)
持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば環境情報センター

■編集後記

一年の計は元旦に有り!
来季の稲作を見据えて、これより、こつこつと、修繕作業に勤しまねばなりません。
今年も、張り切って参ります! (赤シャツおやじ)